

### （1）栄養学 相山女学園大学

- ・私は管理栄養士はただ栄養バランスのことだけを考えるだけ、というふうに思っていたのですが、今日の授業を受け、イメージが変わりました。
- ・先生が話してくださったお話はどれも勉強になりましたが、その中でも特に、常に患者さんや高齢者の立場に立って考えたり、行動することはとても大事だと思いました。
- ・今日のお話を聞いて、単に栄養面だけをみた献立ではなくて、好き嫌いなどを聞いて、それに沿った栄養満点の献立を考えるのが、「人間栄養学」と理解できたので、とてもスッキリしました。
- ・元気に生きてもらうためにどんな手間がかかろうともさまざまな工夫を施し、頑張っている管理栄養士さんたちの話を聞いて、より一層、食べ物に携わって人を支えたいという気持ちが強くなりました。
- ・今回の模擬授業を受けて「臨床栄養士」という職業があることを初めて知った。また管理栄養士と医師、看護師と協力する栄養サポートチームというものは現在において大きな役割を果たしていることがわかった。

### （2）人文学（外国語系） 愛知県立大学

- ・よく耳にした歌がシャンソンであることを知って驚いた。また、ピーマンをはじめ多くのフランス語が日本語になっていること、逆に日本語もフランス語になっていることが分かり面白かった。一番は「tatamiser =畳 ser =日本風の生活をする事」だ。
- ・未婚か既婚か分からない女性に対して、日本人は「マドモワゼル」を使いたくなるが、フランス人は「マダム」を使う。これは「若く見られたい」日本人の価値観と、「大人のしっかりした女性」に見られたいフランス人の価値観との違いと聴いて驚いた。
- ・フランス語は発音が難しかったが、大学では英語以外に他の外国語を学んだり、文化の違いを考えることをしたいと思った。今回の授業で自分が本当にしたいことが分かった。
- ・フランス語の広がり理解するためには言葉だけではなく過去の植民地のことなどの世界史の知識が必要だった。
- ・英単語の70%がラテン語から発生しており、英語を勉強すればフランス語を70%勉強したことになるとのこと。英語へのモチベーションが上がった。
- ・オリンピックでは英語より優先されてアナウンスされていることを知り、外国と言えば英語と思っていた自分に気づいた。視野を広げるべきだと痛感した。

### (3) 経済学 明治大学

- ・今まで経済学部がどんなことを学び、研究するかを具体的に知らなかったの  
で、今回の講義で大体のイメージが掴めた。
- ・経済というものが何なのかということがはっきりとしていませんでしたが、  
この講座を受けてはっきりしました。そして大学で学びたいという気持ちが出  
て来ました。
- ・経済学部は文系の人たちが受験する学部なのに、とても数学的であったこと  
に驚きました。
- ・グラフでも分数でも数学的な見方ではなく、文章で説明・分析されていて、  
とても納得出来ました。一年生のときに習った政治経済の授業が入っていて、  
しかも図で説明されていてわかりやすかった。
- ・今回の講義を受けて経済学への興味がさらに広がりました。相変わらず「難  
しい分野」のままですが、全体を理解しきるのではなく、どういう風に学ん  
でいくか、気にかけていきたいと思いました。

### (4) 法学 立命館大学

- ・今まで、法学と聞くと、弁護士など裁判に関わるような仕事しか思い浮かば  
なかったけれど、法学部で学ぶことは、社会に出ていって様々なところで役  
に立つということが分かった。
- ・今まで法学部といってもあまり想像できなかったけれど、今回、この授業を  
受けてよく理解できた。
- ・法学部をめざそうという気持ちをたかめられてよかった。
- ・法学は予想していたよりも、物事を論理的に考えるもので、文系だが、数学  
的な判断が必要だと思った。私はとても刑法に興味があるので、大学でも学  
びたいと思った。
- ・講義の内容が充実していて、今まで分からなかったことや専門的な内容を例  
に挙げて説明してもらえてよかった。

### (5) 教育学 愛知教育大学

- ・現在、様々な問題が起こっている教育の現場で、教師はどのような方法をと  
れば問題解決できるのか、そもそも問題が起こらないようにするにはどうす  
ればよいのか、根本的なことから学んでいくということはとても興味深い。
- ・自分の中で、教育学とは子供に知識を与えることだったり、大人に向けての  
成長するのをサポートしたり、社会に出るための手助けの仕方を学ぶものだ  
と思っていたけれど、本当は人間は何かということ学ぶものだとなりました。
- ・僕は教師になりたいという夢があるので、今日のお話を聞いて「教科を教え  
るだけの先生ではなく、社会の現状をきちんと把握し、その上で教科を教え  
られるような先生になりたい。」と思いました。

- ・「教育学部」と言えば、先生になるための専門的な知識だけを学ぶというイメージがあったが、お話を聞いてみて、「教育学」とは他の学問よりもずっと深く歴史の深い、単に一言では言い表せない、そんな学部なのだと知ることができた。

## (6) 薬学 名古屋市立大学

- ・今、授業で勉強している化学の構造式が基礎になるので、やはり大学で研究するにしても今の知識が必要だと思った。
- ・講義を聞いていて、実際に水素結合・配位結合など、授業でやったものと同じ原理を使って考える薬もあったので、土台の大切さや授業の大切さに改めて気づきました。
- ・今回の模擬授業で、薬学部への関心がさらに高まったので、目標の進路へ進むことができるようもっと努力しようと思った。
- ・人の役に立てる仕事につけるといいと思いながら授業を受けることができ、よかったと思っています。
- ・現在、医薬や創薬が知的財産や国力増進などと言われていることを知らなかったけど、人々の寿命をのばすのに貢献するということはそれほどおおきな役割をすることだと改めて思った。

## (7) 理学 名古屋大学 (理学部)

- ・数学が好きだったので選択しました。対称性は少し知っていたのですが、より詳しく理解できました。本日はありがとうございました。
- ・正多面体についてこのように詳しくやったのは初めてで、とても興味深かった。(多面体が) 今回の模擬授業を通じて、新たな数学の知識として頭の中に入れてきてとてもいい経験ができた。
- ・今回の授業は、正多面体についてで、なじみのあるものだったので、分かりやすかった。理学部の他の科の授業も受けてみたいと思いました。
- ・難しかったけれど、先生の話は分かりやすく、自分が一つレベルアップした気がする。数学と宇宙の関係の話や、立体模型を使っての説明で、より一層興味がわき、引き込まれるような講義だった。
- ・コンピューターで前に映し出す絵や文章がとてもわかりやすく、理解できるか最初は不安だったが、思っていたよりもわかりやすくよかった。最後にまとめとして要点を話していただき、講義の内容がしっかり整理できた。
- ・内容は難しかったけれど、おもしろかった。もう一度先生の話詳しく聞きたい。

## (8) 工学 (物理工学) 名古屋大学 (工学部)

- ・今日の講義を聞いて、地球温暖化の進行に影響している物質を再利用できるように開発し、地球温暖化を防止してきれいな世界になったらいいなと思いました。

- ・いろいろな方面からものごとを見るのが大切だなと思いました。今まで二酸化炭素はもう使えないというイメージが大きかったのですが、いろいろなことに使えて役立っているんだなと思いました。
- ・多面的なものの見方をすることの大切さがためになったと思います。わざわざ車椅子で学校まで来て模擬授業をしていただき、本当にありがとうございました。
- ・地球温暖化の影響で CO<sub>2</sub> が悪いものというイメージが植えつけられていたが、しっかり研究すれば有効な使い道を発見できるということがわかった。

## (9) 工学（機械工学） 名古屋工業大学

- ・今、習っている波長の話がでて、それが直接関連していることを知り、今の勉強の大切さを改めて感じる事ができた。
- ・今まで理由の分からなかったモンシロチョウの雌雄の判別方法なども、全て光で説明できるところに感動した。自分たちのよく使う透明というものも、別の光からすれば変わって見えるので、普段見えないものを見るのは楽しそうだと思った。
- ・機械工学科へ自分が持っていたイメージとは違っていた。未知の世界の話で、レーザーを使えば、数十センチある分厚い鉄の板でも切断できたり、髪の毛に小さな穴をあけたりできるということを聞いて驚いた。
- ・今、物理でやっているところと重なっているところが多く、話を理解しやすかった。物理のように全般的でなく、一つのことを詳しく勉強する場所が大学であると思った。
- ・大学では自分のやりたいことができるんだと思いました。人間の目が受ける光がすべてではなく、透明という概念が自分の中でも大きく変わりました。

## (10) 農学（応用生物） 岐阜大学

- ・大学の授業は、今までの知識をふまえ、新しいことも学び、研究を通して自分で考えることが大切だとわかった。
- ・今日の講義を聴いて、先生がおっしゃったように、日常の生活から何に対しても疑問に思い、考えてみようと思った。
- ・タンパク質・多糖・DNAを見せていただいて、自分はこのようなものの集合体なのだと思い、細胞・生命の不思議を感じました。
- ・「授業」は学芸の教えを受けること。「講義」はどちらかという先生と生徒と一緒に学問を説いていくこと。それを聞いたとき妙に納得して、大学への憧れがさらに強くなった。
- ・すごい発見をしている人はこつこつ大変な作業をしているのだなと改めて思いました。もっともっと努力しようと思えたので、良い刺激になりました。